

平成 28 年度 学校法人 三幸学園 大阪こども専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 杉山 誠

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 高橋 美穂

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、保育分野の学校として「子どもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、保育分野として「皆から信頼・感謝され、こどもの未来を育む人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

1) 生徒の主体性を育む(自ら考え行動できる人材育成)

皆精勤率・退学率・就職率など、数値目標に関しては前年と比較して微減の結果となってしまったが、生徒の中には実習や就職に向けて主体的な行動や発言が見られるようになってきた。

2) 教職員のレベル向上(チームとしての一体化・若手教職員の育成)

朝礼にて理念の唱和を取り入れたり、労務環境や規則を整え全教職員に共有したことで組織の一体感が高まりつつある。また、経験の浅い教職員に対する校内研修を充実させたことで、教務力の底上げがされたと思う。

② 学校関係者評価委員会コメント

1) 教職員のモチベーションや教育の質を維持する為にも、適切な数の教職員数の確保は大切である。

人件費等の問題もあると思うが、優秀な人材を確保できるよう今後も努めてもらいたい。

2) 昨今の社会情勢などからも、生徒指導については多くの課題があり大変だと思うが、これからも教職員が一体となり、優れた人材を社会に送り続けるよう努めてもらいたい。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・在校生や保護者に対して、理念等は伝えているが、浸透度については十分ではない。

② 今後の改善方策

- ・年度初めや学期初めに発信するだけでなく、「HR」・「実習就職対策」・「未来デザインプログラム」といった授業内でも定期的に発信したり、現時点での自分のレベルを確認させるようにする。
- ・入学前に保護者会を開催し、当校の理念や育成人材像をご理解いただくと共に、普段の生徒指導の際にもご協力いただける体制を整える。また、年2回の文書による発信を行う。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・素晴らしい行事を運営しているので、その行事を活用することで、より理念浸透できると思う。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

・情報システムの導入等により業務の効率化は進めているが、一部の教職員の理解度が低かったり、不慣れで活用しきれていない状態である。

② 今後の改善方策

・事務職員を増やすことで、事務管理体制を強化していく。

③ 特記事項

・平成 29 年度、事務職員を新たに 3 名採用済み

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

- ・カリキュラムやシラバスの見直し・工夫はされているが、まだ不十分である。
- ・職員向けの研修も実施しているが、理解度や指導力に個人差がある。

② 今後の改善方策

- ・教育課程編成委員会や各団体との意見交換会にて助言をいただき、随時可能な事から実施していく。
- ・研修を行うだけでなく、その後に指導係が日常の業務内に反映されているかチェックやフォローを行う。

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・人件費の問題もあると思うが、教員採用は、年末～年度末だけでなく、年中採用活動を実施し、年度途中でも良い人材がいたら採用した方が良いと思う。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・就職率は高い水準を維持しているが、業界外への就職が微増した。
- ・卒業生状況は、一部の教員(担任等)は把握しているが、学校として管理・活用する仕組みが不十分。

② 今後の改善方策

- ・業界関係者や卒業生による校内ガイダンスの頻度を増やし、在校生のモチベーションを高める。
- ・実習訪問だけでなく、卒業生訪問の機会を増やし、卒業生の様子や学校の課題収集に努める。
- ・卒業生に対する研修や相談会を実施し、卒業生のサポートと同時に繋がりを深める。

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・卒業後間もない者だけでなく、5年10年前の卒業生で主任や園長を務めている者に来校してもらうことで、在校生は将来のビジョンがより明確になり良いと思う。
- ・継続力、忍耐力の低い若者が増えていると思うが、ぜひ全教職員一体となり、退学率低減に向けて頑張ってもらいたい。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

- ・高校からの進学者に比べ、社会人に対しての環境整備は不十分な状態である。
- ・共働きの家庭が増え、保護者と連絡が取りたくても時間が合わずにタイムリーな連携が取れないことがある。

② 今後の改善方策

- ・入学者アンケートをとり、改善が可能なことは随時行っていく。
- ・電話連絡が繋がり難い保護者に対しては文書による報告を行うが、まずは、保護者に連絡をしなくてもよい事前説明や指導が学校内で行うよう努める。

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・高等学校では、保護者に対して生徒の家庭内での様子をヒアリングして学内での指導に役立てている。保護者との連携内容を再度見直し、学生支援に生かしてほしい。
- ・少し過保護であったり、生徒に対して遠慮している様子も伺える。もう少し厳しく指導して良いと思う。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

・開校から10年が経ち、故障する備品が少し出始めている。

② 今後の改善方策

・十分な予算を確保し、学業に支障がでないよう環境整備に努める。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

- ・資料作成や説明はしているが、十分な理解が得られていない。
- ・説明内容に若干の個人差があることが判明した。

② 今後の改善方策

- ・入学者アンケートや卒業生アンケートから入学後のギャップを明確にし、正しい情報が伝わるようなツール作成や説明会の実施を行う。

③ 特記事項

- ・特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・特になし。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

- ・中長期事業計画は2012年に策定したが、当該計画は前倒しで終了しているため、今年度に更なる中長期計画を策定する必要性がある。

【予算・収支計画】

- ・特になし

【会計監査】

- ・特になし

【財務情報の公開】

- ・ホームページ上の公開については抜粋版が公開となっているが、今後は事業報告などの詳細な情報の公開が必要。

② 今後の改善方法

【中期計画】

- ・今年度中新中期計画を策定する予定である。

【財務情報の公開】

- ・今年度よりホームページ上の法人の事業報告書を公開する予定である。なお、当該報告書には財務情報にかかる詳細データを掲載する事となっている。

③ 特記事項

- ・特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・特になし。

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・問題点の改善に努めているが、改善策が先送りとなり、求める成果がでていない点もある。

② 今後の改善方策

- ・無理な計画は立てずに、実行可能な内容やスピードを計画する。
- ・まずは実行し、実行しながら修正を加えるようにする。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・止むを得ない事情もあると思うが、改善策は先送りにすることなく、実施することを求める。または、確実に実施できる改善策を立てるようにする。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・人手が不足しており、地域からの要望に十分に応えられていない点もある。

② 今後の改善方策

・担当者と予算を年度初めに確保し、小さくても短時間でもいいので実施できることから始める。

③ 特記事項

・特になし。

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

年度途中からではあったが、職場環境や学内規定を整理したことにより、前年度と比べて多くの項目で改善がみられた。

本評価の結果からは、課題として「優秀な教職員の確保」「卒業生との繋がり」といったキーワードがあがってくる。今後は、引き続き教職員の採用に力を入れると共に、「卒業生→在校生」、「先輩→後輩」といった関係性も強化することで、より厚みのある学校教育が行えるよう努めてまいりたい。